



松木輔在ベトナム日本国大使館参事官による講義


 ODA 現場見学授業でタンロン工業団地を訪問
 (カイベトナムの生産工場を見学)

菅総理来学記念講座* (インターンシップ 1) を開催 日本政府機関や ODA 現場見学等を実施

2024 年 8 月 19 日から 27 日にかけて、学部日本学プログラム (BJS) の 2 年生を対象に「菅総理来学記念講座」が実施されました。本講座は、日本の政治、経済、文化、そして日越関係に対する実践的かつ包括的な理解を深めることを目的としています。講座には、日本政府関連機関や日本企業の協力を得て、多彩な専門家による講義が行われました。さらに、企業訪問や ODA 現場見学も含まれており、学生たちは実際のビジネス環境や国際協力の現場に触れ、理論と実践を結びつける貴重な体験を得ました。このプログラムを通じて、学生たちは日本の現代社会や国際関係についての深い知識を身につけるだけでなく、未来のキャリアに役立つ実践的なスキルや見識を養うことができました。

講義	講師・主催団体
日本の対ベトナム外交政策の概要	松木輔 在ベトナム日本国大使館参事官
法と社会	土生英里 静岡大学教授
日本の ODA	菅野祐一 JICA ベトナム事務所所長
イノベーションとスタートアップ	中島丈雄 JETRO ハノイ事務所前所長
日本語教育・日本文化	吉岡憲彦 国際交流基金ベトナム日本文化交流センター 所長
ODA の現場見学	タンロン工業団地訪問
日越協力に関する企業の紹介、キャリア支援	イオンモール見学 旅工房

*「菅総理来学記念講座」は、2020 年 10 月に菅義偉内閣総理大臣 (当時) が日越大学を訪問し、政策スピーチ「共につくるインド太平洋の未来」を行ったことを記念して、学部日本学プログラムにおいて、日本の政治、経済、文化及び日越関係に関する実践的な理解深めることを目的に実施している講座です。

今月号の内容

- 菅総理来学記念講座 (インターンシップ 1) を開催
- 金沢村田製作所でのインターンシップを経験
- 日本の大学との交流事業
- マーケティングコンテスト最終プレゼンテーションを実施
- ベトフルぐんまプロジェクトに日越大学学生が選出
- 国際共同認証に向けた協議を実施
- Real Voice:
鷺崎友希さん (法政大学職員)
- 日越大学社会基盤プログラム土木学会と共催セミナーを開催
- 「日越大学創立 10 周年記念 台風 3 号復興支援チャリティフォーラム みんなで応援しよう!子どもたちの未来のために」の案内

金沢村田製作所でのインターンシップを経験

2024年8月19日から9月6日まで、学部日本学プログラム（BJS）およびコンピューターサイエンス＆エンジニアリングプログラム（BCSE）の学生2名が金沢村田製作所にて約3週間の実務経験の機会を得ました。この活動は科目「インターンシップ2」として実施されました。参加した学生達はインターンシップを通して日本のビジネス環境や労働文化に触れ、それに適応する能力を養い、異文化理解、言語やコミュニケーションスキルを向上することができました。また、学生たちのキャリア形成を後押しする大きな一歩にもなりました。改めて、インターンシップの受け入れにご協力いただいた金沢村田製作所様に深く感謝申し上げます。



金沢村田製作所でのインターンシップ

日越大学では実践的な学びの場を増やし、多くの学生が職場での実務経験できる機会を提供しています。できるだけ多くの学生に日本でのインターンシップを経験してもらいたいと考えており、このような活動にご協力いただける企業を募集しています。ご興味をお持ちの企業の皆様は、下記連絡先にお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ: cooperation@vju.ac.vn

日本の大学との交流事業

■長崎県立大学との意見交換会を実施

2024年9月12日、長崎県立大学の学生が来校し、日越大学の学生と意見交換を行いました。このイベントでは、長崎県立大学の学生が取り組む「東南アジアの交通機関利用の課題」「東南アジアにおける日本の農機具メーカーの市場シェア拡大について」といった多岐にわたる研究テーマについて発表を行いました。発表後、両校の学生たちはそれぞれのテーマに対して活発な意見交換を行い、異なる視点や文化背景を交えた議論を通じて研究内容をさらに掘り下げました。このディスカッションにより、学生たちは研究への理解を深める貴重な機会となりました。



学生による発表

■九州大学との交流事業を実施

2024年9月23日、九州大学教育学部教員、学生と日越大学教職員との交流事業を実施しました。本交流事業では、ベトナムと日本の文化的・環境的な違いが日越大学のカリキュラムにどのように影響を与えているか等について議論されました。日越大学はベトナムの国立大学でありながら日本型の教育を取り入れた独自性をもち、そのことに伴う課題があることも指摘されました。



交流会様子

マーケティングコンテスト最終プレゼンテーションを実施

2024年9月6日、第2回マーケティングコンテストに参加したベトナムと日本の学生からなる6チームが、3週間以上にわたる共同作業の集大成として、最終プレゼンテーションに臨みました。このコンテストは、日越大学とThien Ha Kameda Joint Stock Companyが共同で企画しました。最終プレゼンテーションでは、幼児向けの米菓子を題材に独自のマーケティング戦略を提案し、熱意ある発表を行いました。Thien Ha Kamedaの代表者により優勝チームが選ばれ、学生チームの独創的かつ実現可能なマーケティング戦略が高く評価されました。



Thien Ha Kameda の代表者と優勝チーム

ベトフルぐんまプロジェクトに日越大学学生が選出

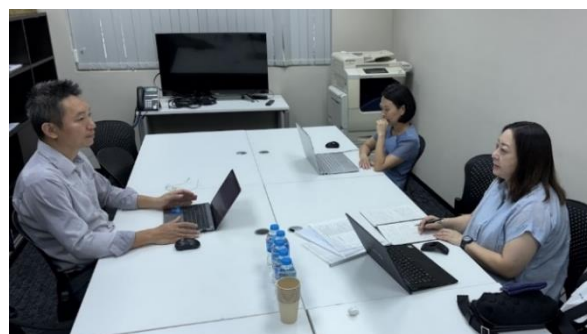
学部日本学プログラム4年生のフオン・リさんが、群馬県が主催するベトフルぐんまプロジェクトに選出され、7月29日から8月2日まで群馬県に招へいされました。本プロジェクトは、ベトナム人学生がインフルエンサーとなり、働く場としての群馬の魅力を発信するものです。リさんは「日本に行くのは初めてだったので、とても興奮しました。多くの美しい場所を訪れたり、日本に住むベトナム人学生たちと交流したり、とても楽しい経験ができました」と話していました。インフルエンサーとしてのリさんの活躍は、群馬県のFacebookアカウント、[Work in Gunma \(ぐんま暮らし・外国人材推進課\)](#)でご覧いただけます。



群馬県のPR活動を行うリさん

国際共同認証に向けた協議を実施

2024年9月9日から9月12日にかけて、日越大学は公益財団法人大学基準協会 原評価研究部部長をお迎えし、国際共同認証* (International Joint Accreditation) 受審に向けた協議を実施しました。今回の協議では、日越大学の各オフィスのスタッフが作成中の自己点検評価書を基に、各基準に関する集中的な議論を行い、受審に向けた具体的な改善方針が話し合われました。原部長は、Oanh 副学長に対し、評価書の作成を単なる形式的な作業にとどめるのではなく、この作業を通じて、大学運営において関係者が主体的に関与できる体制を構築することの重要性を指摘しました。そのため、評価書に示された問題点やアクションプランを、内部の関係者と共有し、対話を通じて問題認識やアクションプランに関する共通理解を築くプロセスの必要性が強調されました。今回の協議により、日越大学は国際共同認証に向けた準備を着実に進め、国際基準に基づく質の高い大学運営の実現に向けて、さらに一步前進しました。



学内での協議の様子

*国際共同認証は、各大学の国際化の推進と国際的な質保証に寄与することを目的としています。このプロジェクトに参加し、認定を受けた大学は、提供する教育の質について国際的な評価機関から認められることに加え、教育の国際化を優位に展開することが可能となります。



Real Voice

日越大学での職員交換研修に参加：鷺崎友希さん（法政大学職員）

日越大学では大学職員交換研修プログラム（BRIDGE Program -Building Reciprocal Insights through Diverse Global Engagements）を実施しています。本プログラムは大学職員が異文化の環境での経験を通じて、国際的な知見を広げ持続可能な国際パートナーシップの強化を促進することを目的としています。本年度は日本の大学職員の受け入れだけでなく、日越大学職員の日本の大学での研修も予定しています。今月号では2024年8月12日～30日まで日越大学側での研修に参加した法政大学職員、鷺崎友希さんより本研修についてのお話を伺いました。

研修の中で印象に残っている活動について教えてください。

一番印象に残っている活動は「菅総理来学記念講座（インターンシップ1）」の集中授業への参加です。授業に参加することによって、日越大学の教職員の方との交流だけではなく、学生との交流もできたことがとても勉強になりました。本研修において、まずは日越大学がどういった大学かを理解する、感じる事が何よりの醍醐味だと思います。授業に参加して教職員・学生の両サイドから日越大学を知れたことが何よりも印象に残りました。



学生との交流
授業参加を通して日越大学の学生ともコミュニケーション
できる関係を構築

日越大学はどのような大学だと感じましたか？

学生・教職員ともに、ベトナム語・英語・日本語の三カ国語が飛び交う環境であることが何よりも日越大学ならではの環境だと思いました。海外の大学の中でも、ベトナムと日本の二国間連携の大学という珍しい環境にある日越大学だからこそ抱えている課題や取り組みについての学びから、自分の所属する大学についても俯瞰して考えられたこと、それだけではなく日本の大学特有の考え方に気づけたことも、本研修の大きな魅力だったと思います。また、日系企業へのインターンシップや就職活動、あるいは日本の大学への進学を目指す学生が多いことも、海外の大学の中で

も日越大学で研修をする意義があると感じました。

今後この経験をどのように活かしていきますか？

本学の中でも珍しい研修であることや、また私は現在、全キャンパスの管財管理を担当する部局で日頃から他部局との関わりが多いこともあり、学内でも研修についてお声がけをいただいております。今はまだ、個人の自己啓発で海外研修へ参加したという見られ方がほとんどかも知れませんが、私個人としては、研修報告書を学内の色んな方に読んでいただき、教務部門ではない・あるいは直接的に留学生とは関わらない部署に所属する職員も法政のこれからの「国際化」を担う人材であること、そのマインドセットの浸透に貢献したいと思っています。

本研修に興味のある方へアドバイスを下さい。

研修中はどんなことでも、学びに繋がるということを一番感じました。今後参加される方は、研修テーマをそれぞれ設定されるかと思います。テーマも大事ですがそれだけにこだわらず、可能な限り関心を持った活動へ参加することやヒアリングをさせていただくことで、研修での学びに深みが出るように思います。肩の力を入れすぎずに知りたいことを思う存分に吸収する研修になることを祈っています。



ホアラックキャンパスの食堂前にて
学食を体験し学生がどのような環境で過ごすのかを知る機会に



特集：日越大学創立 10 周年

日越大学社会基盤プログラム 土木学会と共催セミナーを開催

2024 年 8 月 28 日、公益社団法人土木学会（東京都新宿区）の講堂にて、日越大学修士課程社会基盤プログラム（MCE）10 周年記念セミナーが開催されました。本セミナーには、オンラインおよび対面で約 80 名の参加登録があり、多くの方々の関心が寄せられました。セミナーでは、日越大学設立の経緯やプログラム立ち上げ時の議論、教育・研究内容が紹介された他、日本で活躍する修了生から学生時代に学んだことが現在のキャリアにどのように繋がっているかについての発表があり、参加者とともにこの 10 年を振り返ることができました。最後に、MCE 共同ダイレクターの加藤浩徳先生（東京大学）が、MCE が多くの優れた人材を輩出し成功を収めているのは関係者の皆様のおかげであると感謝の意を示し、今後も日越大学の教育を通じて日越両国の協力関係を強化していきたいとの意気込みを語り、セミナーは終了しました。



加藤浩徳先生の発表

「日越大学創立 10 周年記念事業 台風 3 号復興支援チャリティーフォーラム みんなで応援しよう！子どもたちの未来のために」のご案内

日越大学では、2024 年 10 月 12 日（土）に「日越大学創立 10 周年記念事業 台風 3 号復興支援チャリティーフォーラム みんなで応援しよう！子どもたちの未来のために」を開催いたします。本事業は、2024 年 9 月にハノイを含むベトナム北部に甚大な被害をもたらした台風 3 号の被災者支援も目的としています。

詳細なプログラムにつきましては、10 月 4 日以降、[日越大学公式 Facebook](#) にてご案内いたします。最新情報をお見逃しなく。

皆様の温かいご支援とご参加を心よりお待ちしております。

人事往来

【離任（2024 年 9 月）】

- ・柳 定賢： プログラム運営・実施（グローバル・リーダーシップ）

■日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

（ベトナム語）<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

（日本語）<https://www.facebook.com/VJUjp/>

JICA プロジェクトページ（ODA 見えるかサイト）

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html>

■お問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト メルマガ編集部（担当：川口）

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記お問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト